

# 会 工 同 窓 会 報

発行所

福島県会津若松市  
徒之町1の37

発行人 吉田一栄

## 昭和五十九年度総会

昭和五十九年十月二十一日



### 新たな飛躍を

会津工業高等学校校長  
渋谷 健

工業高校は、産業構造の  
変化に大きな影響を受け、  
学科の見直しによる学科の  
新設転換をしなければなら  
ないという、宿命を背負っ  
ております。

戦前の日本は、高度な工  
業国ではありませんでした  
から、機械科・応用化学科  
を主体とした工業高校が多  
かったのですが、戦後は朝  
鮮戦争によって活気をとり  
もどした日本経済は繊維・  
鉄鋼・造船・石油化学部門  
が盛んになるにもなつて、  
工業化学・金属・電気関係  
の学科が増設されるように  
なりました。

その後、米国よりの技術  
の導入による自動車・電子  
部門における施設整備の投  
資によって、著しい発達を  
するに伴ない、情報技術科  
が工業高校に続々と新設さ  
れるようになりました。  
アジアにおける唯一の工

業国として、国民総生産も  
増大し「経済大国」となつ  
たのでありますが、昭和四  
十年後半頃よりアジア唯一  
の工業国と言われない状  
態になってまいりました。  
日本をとりまくアジア諸  
国、とくに韓国は「日本に  
追いつき追いこせ」を目標  
に意欲的に、工業立国の道  
を進んでおります。



### ご挨拶

会津工業高等学校同窓会長  
吉田 一栄

気象台観測開始以来の最  
高の干天続きで、九月に入  
った今日この頃でも、八王  
子市などでは三十九度を記  
録されるなど今年は本当に  
長く、暑い夏でございました。  
各地では水不足で悩ん  
でおり、農作物なども枯死  
するという被害が続出して  
いる現状であります。

同窓生の皆さんは、これ  
らの異常天候にもめげずに、  
ご元気に活動することと  
存じております。私も同  
窓会は母校の発展を支援す  
べく、皆さんのご協力を得  
まして一昨年は創立八十周  
年の記念行事を遂行し、ま  
た昨年は現代の産業構造か

らは、不可欠である情報教  
育に用いられるマイコンの  
寄贈を総会にご提案しまし  
たところ、会員各位の絶大  
な賛同を得ましてこれを  
実現し、母校の情報教育向  
上に尽力して参りました。  
同窓の皆さんからご寄贈い  
ただきました会工会館から  
は、毎日元氣な後輩たちが  
柔道に励むかけ声が聞こえ  
ますし、前庭に建立された  
校歌碑は朝な夕な登下校す  
る生徒に暖いはげましを送  
っております。また貨幣価  
値の変動に伴って、二十数  
年間その機能を停止してお  
りました、松江奨学会も皆  
さんのご協賛によりまして、

出席して参りましたが、各  
地区の会工会が一丸となり、  
母校支援の態勢をとられて  
おられるのには感激して帰  
省致しました。

本年は十月二十一日(日)  
に、母校の近くの万花楼に  
おいて同窓会総会を東京、  
東海、近畿、福島などの各  
地から代表の方々のご出席  
をいただき華やかに開催す  
ることになっております。

同窓の皆さんの強力なご  
協賛を得まして総会が盛会  
のうちに開催されることを  
希望致しております。

母校が二十一世紀にむけ  
て大きく飛躍するために、  
わが同窓会の団結と母校支  
援の強化が、大きなウエー  
トを占めるものと考えられ  
ますので今後共ご指導・ご  
支援のほどをお願いいたします。

ここに、母校の発展と同  
窓生諸兄のご繁栄・ご健勝  
をお祈りします。

つて日本産業を支えてきた  
繊維業界は勿論鉄鋼・家電  
等あらゆる業界は周辺各国  
を、競争相手と認めなけれ  
ばならない事態になってい  
るのであります。

これからの産業は、新エ  
ネルギーをふくむ新素材材  
野、生化学分野(バイオテ  
クノロジー)マイクロコン  
ピューター、光通信などの  
エレクトロニクス分野の各  
分野での、新しい産業を開  
発してゆかなければならな  
いだろうといわれています。  
そのための、工業人の育  
成を急がなければなりません。  
台湾では八万人の留學  
生を、韓国では八千人の留  
學生を国外に送っている  
といわれています。日本が新技  
術、新しい産業構造をリ  
ドするためには工業高校に  
おいては従来の学科の見直  
しをしなければならぬ時に  
来ていると痛感いたします。  
八十二年の歴史をもつ本  
校だけに、新しい発達のた  
めに困難はあろうとも脱皮  
しなければならぬと思ひ  
ます。同窓生の皆様方のご  
支援を切に望むものであり  
ます。

NEWS

教頭

小 滝 彦 市

このごろ、市内の南、一の堀工業団地へいってみまうと、大きな工場が隣り合ひに大小さまざま建ちあがっています。

看板には、電気・精密機械の加工組立や、ファインケミカル産業の会社名が書いてあり、やうと会津に近代産業が芽ばえてくれたかという思いでおります。

これですと、本校卒業生が、親の願いどおり、地元に残り、地元同窓生の数が増えるものと思われま

るものと期待がもたれます。わが国の産業構造が近年急速に変革したので、工業教育も、各科目の融合化・情報技術の普及化が進

みました。工業基礎・工業数理・マイコン操作を本校の全生徒が共通に必修して

います。マイコン操作を全生徒に実施されるのに機械不足に悩まされたが、同窓

会から寄贈いただいた二台が威力を発揮いたしました。今年、いわゆるペーパーテストを受けずに入学し

た生徒を取扱って二年目に入学を許可しましたが、こ

れ等は、目的意識をはき、日も街を歩いているわけでは

ありません。本校生八学科千四百人が今日も街を歩いているわけでは

ありません。本校生八学科千四百人が今日も街を歩いているわけでは

生徒の教育活動に週を通して一時間の空時間もなく活用されております。

また昭和五十九年一月には、会津会工友会が主催となり新年会を開催しました。

このころ、市内の南、一の堀工業団地へいってみまうと、大きな工場が隣り合ひに大小さまざま建ちあがっています。

看板には、電気・精密機械の加工組立や、ファインケミカル産業の会社名が書いてあり、やうと会津に近代産業が芽ばえてくれたかという思いでおります。

これですと、本校卒業生が、親の願いどおり、地元に残り、地元同窓生の数が増えるものと思われま

るものと期待がもたれます。わが国の産業構造が近年急速に変革したので、工業教育も、各科目の融合化・情報技術の普及化が進

みました。工業基礎・工業数理・マイコン操作を本校の全生徒が共通に必修して

います。マイコン操作を全生徒に実施されるのに機械不足に悩まされたが、同窓

会から寄贈いただいた二台が威力を発揮いたしました。今年、いわゆるペーパーテストを受けずに入学し

た生徒を取扱って二年目に入学を許可しましたが、こ

れ等は、目的意識をはき、日も街を歩いているわけでは



一枚の写真から

東京会工友会長

井 上 真 一

先年、母校はめでたく創立八〇年を祝ったが、しかしらば会工同窓会のはうの創立はどうかというところに意

を注ぎたい。写真の海野さんはまだ可憐な少年で少しばかり首を右にかしげ

て、発人入会は東京で催おされている。その当日写真がのこっている。写

真に一人合計二人だ。第一一回卒業生を出してから四

吳羽化学錦工場会工同窓会  
近況報告

庶務幹事

中 島

（S28年度  
二高工化卒）



会 長

弘 木

吳羽化学錦工場と関係会社には在籍する会工と二高出身者で組織され、その名も『鶴親会』と称し、現在会

員は四十七名です。会長は去る七月本社転勤となった長

沼文雄氏の後を、鈴木弘氏（写真、昭三十八年度工化卒）に代りました。

日本化成同窓会



会 長

佐 藤

日本化成の停年五十五歳、戦後の卒業生が今停年を迎え、又迎える様子が

を、今年三月は、山浦静也（20C）菅美智男（21C）

木村正（23第二C）、九月は佐藤美（21C）五十嵐三

郎（24M）来年三月は佐藤喬（21C）の諸氏である。

停年とは卒業であり、新しい社会への新人生であり同窓会としても積年の労苦を



割烹

萬花楼

大塩 唯 男

会津若松市東栄町  
電話 274567番代

株式会社 若松タクシー

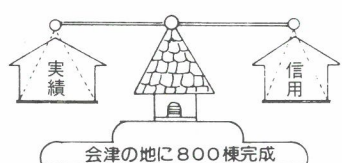
本社 会津若松市鶴ヶ城前  
電話 代表 (26) 6655

ご旅行のアドバイザー  
新婚旅行から団体まで

若タク旅行センター

電話 代表 (26) 7235

分譲地・注文住宅・建売住宅・土地買入



ミサキ住宅株式会社

本社 会津若松市南千石町4-4  
☎ (0242) 27-2089代

吉田セメント製品販売株式会社

代表取締役 吉田 一栄

電話 2714455

秋山建設株式会社

取締役社長 秋山 五郎

〒九六五  
福島県会津若松市米代一丁目四の三十  
☎ (0242) 2713770・3772

丸善石油特約店  
片平石油販売株式会社

片平産業株式会社

代表取締役社長 片平 忠正

本社 会津若松市本町1番1号  
☎ (0242) 2713600代

土木建築請負業

株式会社 丸庄工務所

代表取締役 荒川 英世

福島県大沼郡会津高田町字水戸乙三三  
TEL (0242) 412011

土木工事請負業

横山組

代表取締役 横山 一郎

福島県大沼郡会津高田町字高田甲三三  
電話 024251412047

母校勤務三十年を顧みて

事務局

鈴木 甲 意

光陰矢の如し、と古くからいわれておりますが、過ぎ去った歳月ほど早く感じるものはありません。私が母校に勤務してから、すでに三十数年の月日が過ぎ去りました。当時、理不尽なことなどもあり、心が動揺したことを思い出されます。

その時、忍耐の糸を断ち、私に生活の指針を与えてくれたのは温かなK先生の声。今は亡きK先生は、真面目で書道が師範クラスであり、私には尊敬の的でありました。今はやが黄ばんだこの色紙は、三十数年過ぎた現在でも、私を励ましてくれております。

先生方の勧めで、東京工業大学に長期留学しました。が、ここでも学問的ばかりでなく、人間的にも尊敬できる先生方に直接指導をいただいたことは、人生にとって大きな収穫でありました。学校に復帰してから折にふれ、これらの先生方から、薫陶をいただいたことは幸甚でした。謹厳実直な先生、理想に向って努力する先生など、比較的環境に恵まれ、私をはな

今、事務局員を退くにあたって、お世話になった多くの方々に感謝の念で一ぱいです。最後に、同窓会各位の益々のご繁栄と会の発展をお祈りすると同時に、母校のご隆盛を念ずるものであります。

藤本半治中尉殿の想い出(II)

昭和十七年卒

原田 利 良

八月末日、自宅でアルバムを整理していた、藤本半治准尉殿の、出征時の駅前送別挨拶時の記念写真をみつけた。定でないが、天川勇君の次兄の守さんが、撮られたものを頂いたように思う。昭和十三年初秋九月半であった。向側に故人三輪亀七、高橋栄両先生の姿も見受けられる。

藤本先生の本校就任の経歴等については、本校教頭の小滝彦君の記録にゆづるとして、更に既に先輩が

の小川を渡れ」と言う訓告である。真面目で誠実な戸田生徒は、洋服やゲートル靴をビキビキに履いて川を渡り、「後致しませんから許して下さい」と詫言に掛け足、「神様何んと祈んだ」と謂う今では、笑いが幾多あるようである。

その戸田少年も、南満洲から日本神学校に進学、現任名古屋に在る日本キリスト教団の長老牧師をしてい

「鍛錬に在り」として、毎月曜日の六時限に、運動場(円周三〇〇米を一〇周)に集合して、徳訓が未だに上級生の中には、赤パンツやメリヤスパンツが混じっていた。自分も早々、大

近況報告

近畿会工会長

原田 利 良

秋深く、夜長になり、凌晨善く参りました。勉学に、スポーツに最適な時期であります。皆々様御元気で御活躍されておられることと存じます。

私の近畿会工の地区は(1)琵琶湖の南「オオミ」地区、(2)京都全域、大阪全域、兵庫東部、岡山南東部の「シカマ」地区に属し、全会員約一五〇名で、組織されています。常時連絡可能な会員は約三〇名であります。近年会員の移動が少なくなり、郵便が返戻されるのが遺憾であります。

昨年五十八年度総会が宝塚市鐘紡保養所で、施行されました。本校同窓会長吉田一栄氏、事務局長斎藤藤一氏の御来臨を蒙り、一會定報告があり、来年度の決

メ社長として、ファスナー等デザイン産業に活躍中である。最近高血圧症と聴く御自愛を祈ります。当会



会津坂下会工会

|         |       |     |        |
|---------|-------|-----|--------|
| 会 長     | 二瓶 隆男 | 幹 事 | 佐藤 悦朗  |
| 副 会 長   | 佐藤 政利 | 幹 事 | 磯田 昭雄  |
| 監 事     | 大堀 順一 | 幹 事 | 宮田 栄   |
| 幹 事 長   | 江川 一正 | 幹 事 | 甲斐 光威  |
| 幹 事 副 長 | 佐藤 実  | 幹 事 | 福地 一芳  |
| 幹 事     | 平野 博久 | 幹 事 | 細川 博   |
| 幹 事     | 鈴木 昌明 | 幹 事 | 高橋 信之  |
| 幹 事     | 伊藤 隆  | 幹 事 | 佐藤 富士雄 |
| 幹 事     | 鈴木 良作 | 幹 事 | 岡崎 秀一  |
| 幹 事     | 本田 文孝 | 幹 事 | 他会員一同  |
| 幹 事     | 高久 俊昭 | 幹 事 |        |

先産業株式会社

代表取締役 遠藤 俊平  
TEL 二五二三四一  
会津若松市北町中沢  
TEL 二五〇五〇一七  
(49号線バイパス)  
喜多方・田島・只見・福島・郡山

滝谷建設工業株式会社

代表取締役社長 目黒 和雄  
常務取締役 目黒 幸衛  
若松支店 福島県大沼郡二戸町大字下字尻屋三  
郡山出張所 福島県会津若松市大字一丁目二の八  
西会津出張所 福島県郡山市安積町大字笹川字南

会津ゼネラル

本社 会津若松市門田町年貢町大道西五  
TEL 2712400

静かな庭(三宅邸)に囲まれた総合結婚式場  
料亭  
米熊  
会津若松市栄町  
電話 代表(22)0399番

有会津クラフト

代表取締役 平山 恒雄  
会津若松市本町八番四十六号  
電話(〇二四二)2718741代

山内写真館

写真撮影・カメラの御用は  
(昭和6年12月卒)  
会津若松市日新町12-28  
電話 2712042番

藤田製綿工場

会津若松市新横町4-27  
電話 2715034

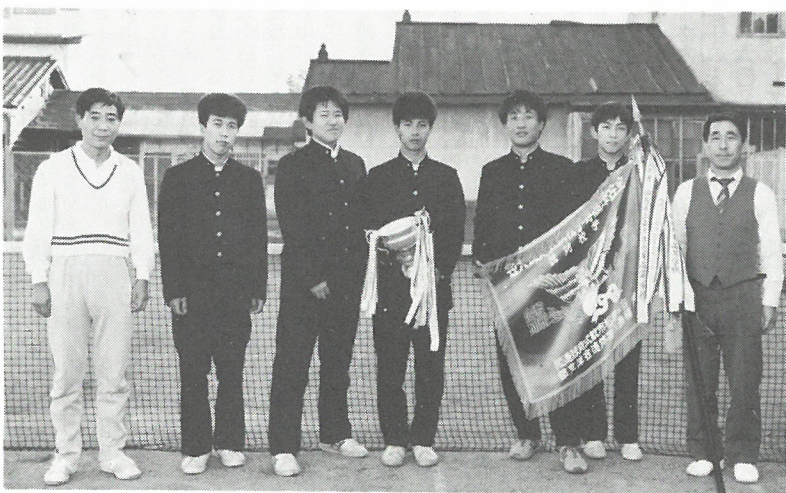
今日の幸せも繁栄も  
みなご先祖のおかげ  
保志の 保志グループ  
代表取締役社長 保志 昭一  
本社/本町9-23/☎0242-26-0717

伊東建設工業株式会社

代表取締役 伊東 正  
福島県会津若松市門田町  
大字年貢町字大道西六三番地  
電話 二七七八〇五八番



# 生徒会運動部活動状況



軟式庭球 優勝

## 軟式庭球部

中学校より素質のある選手が、年度当初相当入部する。顧問一同、喜んで期待しているが、夏休みに入部する選手は、殆ど止まっている。このままでは、今年度の大会で、優勝回数も多くなり、優勝回数も多くなり、何とか頑張っている。しかし、そろそろ限界が近いことがうかがわれる。何とかしたい。学校内に夕日のあたるコートが欲しい。二面最低あれば、今年度実績

## 陸上競技部

陸上部今までの大会を通して、三年生にとって最後の大会である高校総体では、各選手が自己ベストを出し、東北大会では、4×100Mリレーややり投げで会工記録を達成した。そして、一、二年生が中心に行われ

## 体操部

今年の大会も新人大会を残し、すべて終了。昨年度では、国体をめざし三年生も頑張っていたが、今年はチーム力がなく、全国大会、国体の団体出場は出来なかった。しかし県大会はすべて優勝をたし。また東北大会でも三Eの弦巻俊一が健闘し、個人総合で二位、種目別で徒手一位と活躍した。現在部員は一年生が中心で、毎日の練習に精進している。今年の不振を反省し、来年こそは、会工体操部を再び全国に示さなければならぬ。頑張ります。

## 弓道部

春の大会では、会津で準優勝し、県大会に出場したが、おしくも予選落ちだった。それから練習内容を少し濃くし、次の大会へいどみ五位で県大会へ出場しました。この時も力が出しきれず、予選を通過することができませんでした。今、弓道部では、一年生は修学旅行のあとにひかえ、新人戦に向かって力をいれています。これから、弓道部はかわります。

## 野球部

甲子園出場を心に誓っている、新たな気持ちで出発した。昨年度、それ以来三年生は、いっつも練習に絶えなからず、なお先頭になつてチームを引っ張ってき

## 柔道部

暖かく見守って下さった同窓生諸兄に深く感謝するのみです。

- 全国大会県予選大会 団体優勝(初優勝)
- 個人・中量級優勝
- 県総合体育大会 個人・軽重量、中量級優勝(団体選手として二名出場決定)
- 東北高校大会 優秀校 優秀選手(二名)
- 東北ミニ団体 団体三位
- 全国高校大会出場(二回戦負(秋田))
- 全国高校金鷲旗大会 四回戦進出 (福岡)

## バスケット部

今年度のチームは、地区大会においては新人大会を除いて、あとの三つの大会において第一位。一八〇cmの台が三人と身長には恵まれていたが、反面、機動力に欠けていたと思う。そのためか、県大会においてはベスト8どまり。もう一歩のところで、一つの壁が破れず、残念。

## バドミントン部

今年度は本当に苦しい年でした。技術、体力において他校に一歩も二歩も譲るメンバーでの戦いでしたが、やっとのことで、インターハイ優勝の栄冠をかちとることができました。勝った瞬間、選手たちは抱き合い、そして号泣しました。伝統校の名に縛られ、優勝を義務づけられた彼らは、見事に精神力でその重圧をはね返したのです。今はただ彼らに、無言の拍手を送り、

## サッカー部

三年が少なく、実力的にはあと一歩のところである。インターハイ県大会では、

## 剣道部

剣道部一年の歩みと一言我が会工剣道部の、一年の歩みを振り返って見て、忘れてはならないことがある。それは、朝稽古で毎朝七時から八時まで、全員参加ではいかなかったが、一つ一つ積み重ねながら続けて来ました。これは、部員全員が誇りとして思っています。その他、放課後の稽古は、ただやるだけの練習じゃなくて、週単位に練習のテーマを決め、中味の濃い練習を行って来ました。この一年の戦績は、総体地区大会第三位、インターハイ地区大会第六位などです。これからがんばります。

## 排球部

一月、四校リーグ第三位五月、インターハイ地区大会第三位。六月、インターハイ県大会一回戦敗退、対戦校は湯本高校。県総体地区大会では、二年生の新チームで出場第三位。七月の県総合体育大会では、湯本高校に負け一回戦敗退。九月、秋季大会第三位。



## 会津土建株式会社

取締役社長 菅家 忠男

TEL 2614500・271764  
会津若松市追手町五二十六

## 酒亭道場

あなたは何段? 最高位はどなた?  
『酒豪コンクール』開催中!!  
くくつ 飲めば 飲む程 豪華賞品  
れれつ 安くて うまくて 雰囲気満点  
た たつ ノドに自慢は「カラオケでナジヲシ  
水商売らしくない  
会工の店ここにあり  
会津若松市上町8-1(スズメ肉店南角)  
TEL 250040

## 株式会社 一矢建設

代表取締役 山田 尚

会津若松市日新町10-40  
電話 2610018(代)

## 会津坂下会工会

会長 二瓶 隆男

## 翔き

新しい時代を造る  
確かな槌音

株式会社 東條建設工業

代表取締役 東條 秀夫

会津若松市蚕養町9-13  
TEL 2513661(代)

## 株 田部組

田部 憲一

大沼郡会津高田町字高田甲三三  
TEL 0242543054

## 株 松坂屋家具店

取締役社長 村 松 賢一郎

会津若松市御旗町 電話 2716624  
会津若松市七日町 電話 2713630

## 武田土建工業株式会社

取締役社長 武田 信孝

TEL 2411018

福島県会津若松市中央三丁目4-25

表－Ⅰ 昭和58年度各科進路状況

| 科     | 数   | 進 学 |     |     |    | 就 職 |     |     |     |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
|       |     | 大 学 | 短 大 | 各 専 | 計  | 自 営 | 県 内 | 県 外 | 未 定 |
| 織 維   | 30  |     |     | 4   | 4  |     | 14  | 11  | 1   |
| 工 芸   | 39  | 1   | 2   | 4   | 7  | 2   | 14  | 16  |     |
| 窯 業   | 36  | 1   |     | 1   | 2  | 2   | 13  | 19  |     |
| 化 学 1 | 38  | 3   |     | 6   | 9  |     | 13  | 15  | 1   |
| 2     | 38  | 4   |     | 2   | 6  |     | 15  | 17  |     |
| 機 械 1 | 40  | 1   |     | 3   | 4  | 1   | 11  | 23  | 1   |
| 2     | 39  |     |     |     |    | 1   | 16  | 22  |     |
| 電 気   | 38  | 1   |     | 5   | 6  | 2   | 14  | 16  |     |
| 電 子   | 41  | 2   | 1   | 8   | 11 | 1   | 10  | 18  | 1   |
| 建 築   | 40  | 11  |     | 4   | 15 | 1   | 9   | 14  | 1   |
| 計     | 379 | 24  | 3   | 37  | 64 | 10  | 129 | 171 | 5   |

進 学 16.9 % 就 職 決 定 98.4 %  
就 職 83.1 % 未 定 1.6 %  
※就職決定 県内 44.1 %  
県外 54.3 %

佐藤 進

昭和五十八年度卒業生の進路について、その概況を要約し、先輩各位に最近の本校生の志向と実態をお知らせいたします。

第一に地元（県内）就職希望者と県外希望者について年度当初三年生三八三人を対象に、求職動向調査を実施したところ、進学希望者六四名、未定八名を除いた三一名のうち、県内就職二〇八名、県外一〇三名で三分の二が、親元から通動可能な地元への就職を望んでおった。これは男子生徒三七七名中、長男二五三名、女子六名中、長女五名と昨今の家族構成の特徴を反映し、本校も例外でないことを物語っております。それにしても、二〇〇名からの卒業予定者を受け入れる地元企業の求人体制はどうか。国鉄などの新採用

見合せに加え、地方公務員の行革のあたりも考慮にいれば、地元希望者で卒業後就職先の決まらない者が目立つのは、出願先の選に甘さが見られるのではないだろうか。その他、これらの資料を分析しながら、今後の進路指導を進めていく上での問題点なども、多々あるわけですが、八十余年の歴史の中で先輩各位が各方面で活躍され、求人などにも積極的にご援助下され、全般的に不況の中でも本校では大変恵まれております。新聞等の報ずる処では、昭和五十九年三月現在の全国高校卒業生を対象とした求人数が一・五三倍といわれますが、本校では、科の指定がないものの、四、五倍に達しております。本校の伝統と、先輩各位に、本稿を借りて感謝申し上げます。

表－Ⅲ 公務員・公社関係進路先

| 就 職 先     | 就 職 先         |
|-----------|---------------|
| 人事院関東事務局  | 警 視 庁         |
| 人事院東北事務局  | 神 奈 川 県 警     |
| 会津若松市役所   | 関東郵政局（郵政外務）   |
| 会津若松市役所   |               |
| 塩 川 町 役 場 | 仙 台 多 賀 城 隊   |
| 磐 梯 町 役 場 | 仙 台 多 賀 城 隊   |
| 福 島 県 警   | 仙 台 多 賀 城 隊   |
| 福 島 県 警   | 埼 玉 熊 谷 隊（航空） |
| 福 島 県 警   | 埼 玉 熊 谷 隊（航空） |

表－Ⅱ 主 な 進 学 先

| 大 学         | 国 立 | 山形大、千葉大、茨城工短                                                                               |
|-------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | 公 立 | 会津短大                                                                                       |
|             | 私 立 | 関東学院大、足利工大、東海大、日大、富士大、幾徳工大、東京電機大、東北工大、東北学院大、東京理大、金沢工大                                      |
| 各 種 専 門 学 校 |     | 関西鍼灸、音響技術、舞台芸術、東京デザイナー学院、東北工科美術、中央工学校、仙台電子専門、東北電子計算機、青山レコーディング、東京工学院、千代田工化、トヨタ学院、日本電子、東放学院 |

表－Ⅳ 昭和59年 3 月卒業生の進路状況

| ◎ 過去 8 年間の求人状況 |       |       |       |       |                  |                  |                  |                  |
|----------------|-------|-------|-------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 年 度            | 51    | 52    | 53    | 54    | 55               | 56               | 57               | 58               |
| 求 人 会 社 数      | 1,229 | 1,140 | 1,110 | 1,249 | 1,572<br>(県内188) | 1,670<br>(県内176) | 1,353<br>(県内100) | 1,248<br>(県内103) |

| ◎ 各科の主な就職内定先 |                                                                                                                                                            | ○内数は内定数 他1名 |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 織 維          | 東北エレクトロニクス、丸隆工業、福島精密、協和機器②、日清紡（浜松）（川越）（藤枝）各工場、都築紡、富士紡、梅花紡、東北アツギ、ヒロセ電機、新潟運輸倉庫                                                                               |             |
| 工 芸          | マイクロ③、富士通会津工場②、㈱保志グループ、会津シグマ、ライオン堂、栄川酒造、松本産業、マルクワ家具、ヤナカ、カタスマ、セントラル警備保障、東北エレクトロニクス③                                                                         |             |
| 窯 業          | 会津碍子、富士通会津工場、東北エレクトロニクス、マイクロ㈱、東信オーディオ、玉川設備工事、第1電通②、佐々木ガラス、東芝モノフラックス、東芝セラミック（東金）（秦野）、東芝タンガロイ、日本電気硝子、保谷ガラス、山谷ガラス                                             |             |
| 化 学 工 学      | 富士通会津工場⑦（川崎工場）、東北エレクトロニクス④、コロナ電子②、東信オーディオ②、福島精密機械③、会津碍子②、花春酒造、信越ポリマー②、味の素、東芝回路部品エンジニア、フジカラーサービス、日立製作所、日清紡、大東化成、三井東圧化学、凸版印刷、鹿島石油、日本樹脂工業、東京ニュース、日本プチル、東芝シリコン |             |
| 機 械          | 富士通会津工場③、（川崎工場）⑤、東北エレクトロニクス②、リズム工機③、日本モトローラ②、会津オリンパス②、マイクロ㈱②、竹田病院、日野自動車②、キャノン②、ヒロセ電機②、松下電送、国際電信電話、東芝、東陶機器、花王石鹼、シバソ、本田技研、トヨタ自動車、日産自動車、明治製菓、ローレルバンクマシン       |             |
| 電 気          | 東北電力②、富士通会津工場②、東京電力③、東芝（日野）②、日立製作所、同研究所、日本モトローラ、サンケン電気、東京応化工業、シャープ電子機器、日立サービスエンジニアリング                                                                      |             |

|     |                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 電 子 | 日本モトローラ③、東北ヤマキ、富士通会津工場②、（川崎工場）、コパル、日立電子サービス、日立電子エンジニアリング、松下電送②、信興製作所②、国際電信電話、日立製作所② |
| 建 築 | 東北エレクトロニクス、山口建築設計事務所、ミサワ住宅、熊取谷石材工業、東急ホームビルダー、玄蕃工務店、兼子組、間組、朝日組、江州建設、目黒建設             |

| ◎ 2名以上の受験・内定状況 |      |     |       |               |     |   |
|----------------|------|-----|-------|---------------|-----|---|
| 企 業 名          | 受験数  | 内定数 | 企 業 名 | 受験数           | 内定数 |   |
| 富 士 通 会 津 工 場  | 技 能  | 31  | 13    | 協・和 機 器       | 2   | 2 |
|                | 技 術  | 2   | 2     | 第 一 電 通       | 2   | 2 |
|                | 技能研修 | 6   | 5     | い す ゞ 自 動 車   | 2   | 2 |
| 東 北 エ レクトロニクス  | 技 能  | 34  | 14    | キ ャ ノ ン       | 2   | 2 |
|                | 技 術  | 2   |       | 国 際 電 々       | 2   | 2 |
| 会 津 オ リ ン パ ス  |      | 5   | 3     | 信 興 製 作       | 2   | 2 |
| 会 津 ゼ ネ ラ ル    |      | 4   | 3     | 佐 々 木 硝 子     | 2   | 2 |
| 会 津 シ グ マ      |      | 4   | 2     | 信 越 ポ リ マ ー   | 2   | 2 |
| 会 津 碍 子        |      | 4   | 4     | 東 京 光 学 機 械   | 2   | 2 |
| 会 津 自 工        |      | 3   | 3     | 東 芝 日 野       | 2   | 2 |
| 日 本 モ ト ロ ー ラ  |      | 12  | 6     | 東 京 電 力       | 5   | 4 |
| 福 島 日 産 自 販    |      | 3   | 2     | 日 本 電 気 ガ ラ ス | 4   | 2 |
| 福 島 精 密 機 械    |      | 4   | 4     | 日 清 紡         | 5   | 4 |
| 東 信 オ ー デ ィ オ  |      | 7   | 4     | ヒ ロ セ 電 機     | 3   | 3 |
| リ ズ ム 工 機      |      | 8   | 3     | 日 立 製 作 所     | 7   | 5 |
| ミ ク ロ ㈱        |      | 10  | 7     | 松 下 電 送       | 3   | 3 |
| 丸 隆 工 業        |      | 3   | 2     | ローレルバンクマシン    | 2   | 2 |
| 東 北 電 力        |      | 6   | 2     | 東 芝 セ ラ ミ ッ ク | 2   | 2 |
| コ ロ ナ 電 子      |      | 3   | 3     | 東 芝 電 気       | 6   | 5 |
| 日 本 デ ジ タ ル    |      | 4   | 1     | 富 士 重 工       | 2   | 1 |
| シ ー エ ス 化 成    |      | 3   | 1     | 福 島 民 報       | 2   | 1 |